

高等学校 第2学年 ホームルーム活動学習指導案

期 日 平成22年10月25日(月)・平成22年11月4日(木)

場 所 熊本県立小川工業高等学校

指導者 教諭 村上 優

1 題材名

インターンシップにおける事前・事後指導

2 題材について

(1) 題材のねらい

インターンシップ(就業体験)を効果的に実施するために、事前に社会人基礎力等から社会を生きる上で必要な諸能力について言語活動を通して探らせ、意識化させることで、自己目標を明確に持たせる。また、自己の長所を意識し、それを生かせる場面をインターンシップでの自己目標として設定する。その自己目標を意識して行動し、さらに自己評価する力も身に付けさせる。この取組によって「職業人としての自覚と誇り」をはぐくむとともに、「社会のルール」や「社会生活をすすめる上での常識的なマナー」等を身に付け、望ましい勤労観・職業観を育成し、近い将来、学校生活から職業生活への円滑な移行ができるようにする。

(2) 本題材の系統は次のとおりである。

若者の就業をめぐることは、本県の場合、明確な進路目標を持った生徒がいる反面、フリーターやいわゆるニートの存在、及び早期離職者の割合が全国平均より高めに推移している。さらに、身だしなみや挨拶、時間を守ること等の基本的な生活習慣に対する意識の低さ、コミュニケーション能力等の社会性の不足も指摘されている。一旦は職業についたにもかかわらず、2～3年も経たないうちに離職して、その後は、様々な職を転々として渡り歩く卒業生が増加傾向にある。このような状況に陥らないように体験活動を通じ、働くことの意義をしっかりと身に付け、社会人として自覚と誇りをはぐくむ教育活動が期待されている。

そのために、今回のインターンシップの体験が勤労観・職業観の育成に効果的に働くよう自己目標を掲げて取り組むことを徹底して指導するものとする。

(3) 本題材に係る生徒の実態は次のとおりである。

- 建築科の男子25人、女子10人の計35人のクラスであり、素直で明るい生徒が多い。
- 進路目標がはっきりしていない生徒が多く、将来への目的意識が低いことが課題の提出などの学習への取り組みや遅刻・欠席の数などに表れている。
- 実習などの授業でグループの活動をしているため、生徒同士の仲は良く、互いに思ったことを伝えられる雰囲気はある。

(4) 指導にあたっては、次の点に留意する。

- 世の中の様々な職業全てが「何らかの形で人の役に立っている」ことを徹底して理解させる。
- 自己目標を明確に持たせて就業体験を実施する。
- 自分の長所をしっかりと認識させ、就業体験において発揮できるようにする。
- 社会のルールやマナーの基本的な事項について身に付けさせる。
- コミュニケーション能力の向上を図る。

<具体例>

- ・身だしなみ／話し方／態度／会話のマナー
- ・あいさつの仕方
- ・言葉遣い、対応方法、敬語の基礎知識
- ・指示の受け方・報告の仕方・相談の仕方
- ・電話のかけ方・受け方の基本マナー
- ・名刺交換
- ・表情の作り方／笑顔と微笑みの相違
- ・席次のとり方
- ・その他

3 目標と評価規準

目標	明確な目標を持って就業体験に臨み、社会を生きる上で必要な能力について理解するとともに、将来の職業人としての自覚と誇りを自ら育てていく。
関心・意欲・態度	社会や職業に対して興味を持ち、将来どのように社会に参画するかを考え、明確な自己目標を持つようとしている。
思考・判断	○社会人・職業人に求められる能力について考えることができる。 ○就業体験において自分が発揮できる能力について考えることができる。
技能・表現	○自分の意見を積極的に表現できる。 ○他者の長所を理解し、それを言葉で表現できる。 ○他者の意見を自分の考えと照らし合わせながら聞くことができる。 ○自分の意見を人前で堂々と発表することができる。 ○社会のルールやマナーの基本的な事項に従って、行動できる。
知識・理解	○社会における職業の価値や勤労の尊さを理解している。 ○社会のルールやマナーについて理解している。 ○職業人に求められている能力について理解している。

4 実施計画・指導計画（特別活動） ※SHR：ショートホームルーム，LHR：ロングホームルーム

時期	計画	学 習 活 動	指導上の留意点 ※言語活動とその留意点	評価項目
4月	LHR	学年集会 インターンシップの説明 意義・ねらいを理解	・学年の方針を提示し、それを基に就業体験の意義を考えさせる。 ※自分の考えや決意を自由に記述させる。	【技能・表現】 自分の考えを率直に文章化することができる。
5月	LHR	インターンシップ希望調査 事業所の業務内容の理解 自分の長所の認識 就業体験の目標の理解	・インターンシップ受入事業所の業務内容を理解させる。 ※自分の長所に合った業務について表現させる。	【関心・意欲・態度】 社会や職業に対して興味を持ち、将来どのように社会に参画するかを考え、明確な自己目標を持つようとしている。
9月	LHR	実習先の決定と業務の理解 実習先の担当業務の理解	・実習先の業務について理解し、どのような形で社会に貢献しているか考えさせる。	【技能・表現】【知識・理解】 ・自分の意見を積極的に表現できる。 ・社会における職業の価値や勤労の尊さを理解している。
	SHR LHR	校内指導担当者と打合せ 自己紹介文作成 自己紹介用紙の添削指導	・実習先を熟知した校内指導担当者から就業体験場所に応じた指導を徹底する。	【技能・表現】 他者の意見を自分の考えと照らし合わせながら聞くことができる。
10月	LHR	学年集会 ビジネスマナー講話 服装頭髪指導	・社会のルールやマナーの基本事項について身に付けさせる。 ・コミュニケーション能力の向上を図る。	【技能・表現】 社会のルールやマナーの基本的な事項に従って、行動できる。
	SHR	生徒の事前訪問	・事前訪問においては、社会人としてのマナーの基本事項を十分指導しておく。	【知識・理解】 社会のルールやマナーについて理解している。
	LHR 本時 1	就業体験の自己目標の設定 自分の長所の認識 長所を生かせる場面を認識	・自分の長所を認識し、それが実習先のどのような場面で発揮できるか考えさせる。 ※自分の考えや目標を明確に記述させる。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 就業体験での自己の明確な目標を持つ。
インターンシップ実施 10月26日（火）～10月29日（金） 校内指導担当者は各事業所での生徒の状況を把握し、事業所の担当者と連携をとりながら指導する。				
11月	LHR 本時 2	インターンシップ体験発表	・業種別の班に分け、自分で設定した目標の達成状況を報告し合う。 ※就業体験で生かされた長所やこれからの学校生活の目標を発表する。	【関心・意欲・態度】 話合いに積極的に参加しようとする。 【技能・表現】 自分の考えを表現できる。

5 本時1の学習

(1) 目標

将来の職業人としての自覚と誇りを持つために、社会における職業の価値や勤労の尊さを理解するとともに、自己の長所を認識し、その長所を生かして就業体験ができるようにする。自己を理解し、自分に自信を持たせ、明確な目標を持つことにより効果的な就業体験につなげる。

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※言語活動とその留意点	備考
導入 50分	1 自己目標設定の意義を理解する。【一斉】	T インターンシップに自己目標を持って取り組もう。 T 目標はどのようにして設定すればよいでしょうか。 T 社会人基礎力について考えてみよう。 T この中で、自分が身に付けたい能力は何か考えよう。	○インターンシップの意義を考えさせる。 ※自己目標を設定するために、自分の長所や短所を認識することが重要であることに気付かせる。 ○社会人基礎力について説明する。 ※社会人基礎力の中で自分自身が身に付けたい（短所だと思ふ）能力について考えさせる。	板書 ワークシート ワークシート
展開 40分	2 各班で話し合う。 【業種別グループ】 (1) 長所となる行動を具体的に表現する。 (2) 自分自身の長所をまとめる。 (3) 自分の長所を生かした目標を立てる。 3 話し合った結果を発表する。【一斉】	T 自分の長所を生かした目標を立てよう。 T お互いの長所を出し合おう。長所となる行動を数多くあげよう。 例：「〇〇〇のときに、×××していたこと」 T 出してもらった長所から、自分の長所をまとめてみよう。 T まとめた長所は、社会人基礎力のどれに当てはまるだろうか。 T 自分の長所から具体的な行動目標を設定しよう。 T 各班で出された長所を生かす自己目標について発表してください。 ・メンバーの長所 ・特徴的な自己目標	※自分に対する長所を述べられたら、素直に受け入れて、相手に感謝の意を表すようにする。 ○人の長所を評価してあげることが重要であることを理解させる。 評価項目 【関心・意欲・態度】 明確な自己目標を持つようとしている。 【思考・判断】 就業体験において自分が発揮できる能力について考えることができる。 ※長所から設定した自己目標についてグループ内で発表し合い、共通する点や他者から学ぶ点をまとめさせる。 ※3つの段階を経て設定した自己目標について説明させる。	板書 ワークシート ワークシート
終末 10分	4 学習したことを確認する。【一斉】	T 自分の長所に自信を持ち、自己目標が実現できるように頑張ろう。 T 議論した仲間を大切に、有意義なインターンシップにしよう。	○各班に共通する考え方を示す。	板書

6 本時2の学習

(1) 目標


就業体験での自己目標を明確にして臨んだ結果を振り返ることにより、自己の長所を理解し、自分に自信を持つことで、将来の職業人としての自覚と誇りを育成する。また、就業体験を通して、社会における職業の価値や勤労の尊さを理解し、これからの学校生活が自己目標を明確に持った有意義なものとなるようにする。


(2) 展開


過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※言語活動とその留意点	備考
導入 10分	1 従事した就業体験の特徴的な場面を紹介【一斉】 2～3人の事例を全体に紹介する。	T ○○事業所で、○○君が取り組んでいる場面です。 T どのようなことを体験しましたか？ T 事業所ではどのような能力や行動が必要だと思いましたか？それは「社会人基礎力」のどの能力要素だと思いますか？ T あなたの長所を生かした目標は何でしたか？それを生かせる場面はありましたか？ T これからの学校生活での目標は何ですか？	○指導担当者から情報を提供してもらおう。 (写真や業務内容、状況) ※生徒に意見を出させ、事例として取り上げた本人にも発言させ、理解させる。 ※本人が経験したことから具体的に述べさせる。 (例) ～の作業(場面)では、～できる能力(行動)が必要だと思いました。 【思考・判断】 ○社会人・職業人に求められる能力について考えることができる。 【知識・理解】 ○職業人に求められている能力について理解している。 【技能・表現】 ○自分の意見を積極的に表現できる。 ○他者の意見を自分の考えと照らし合わせながら聞くことができる。 ○自分の意見を人前で堂々と発表することができる。	実物 投影機 写真 ワークシート
展開 35分	2 各班で話し合う。 【業種別グループ】 導入で紹介したような次の視点で、班のメンバー全員に述べさせる。 (1) 事業所でどのようなことを体験してきたか。 (2) 事業所ではどのような能力や行動が必要だと思ったか。 (3) 自己目標として決めた自分の長所を生かせる場面はあったか。 (4) これからの学校生活の目標は何か。	T 班内で就業体験について報告しましょう。 次の内容について各自が述べてください。 ●どのようなことを体験してきたか。 ●実際に必要だと思った能力や行動 ●自分の長所を生かした目標とそれを生かす場面はあったか。 ●これからの学校生活の目標	○場面を特定すると能力について述べやすい。 ※求められる能力を身に付けるために必要なことから、これからの学校生活の目標を決めさせる。	ワークシート
	3 報告結果を発表する。【一斉】	T 各班の報告の中で特徴的なことを発表してもらいます。	○体験内容 ○求められる能力・行動 ○学校生活の目標 (特徴的なものについて)	
終末 5分	4 学習したことを確認する。【一斉】	T 体験してきたことを、今後の学校生活に生かしていこう。 T 体験してきたことを踏まえて、礼状を書こう。	○求められる能力をどのように身に付けていくか ○職業の価値、勤労の尊さについて	板書

『社会人基礎力』とは??

社会人基礎力・・・『職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力』のことで、次の3つに分類される。

 **前に踏み出す力**
(アクション)
一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

 **考え抜く力**
(シンキング)
疑問を持ち、考え抜く力


 **チームで働く力**
(チームワーク)
多様な人々とともに、目標に向けて協力する力


分類	能力要素	どのような能力か	優先順位
前に踏み出す力 (アクション)	主体性	物事に進んで取り組む力 例) 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけ積極的に取り組む。	
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力 例) 「やろうじゃないか」と呼びかけ目的に向かって周囲の人を動かしていく。	
	実行力	目標を設定し確実に行動する力 例) 言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例) 目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 例) 課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「其中最善のもの何か」を検討し、それに向けた準備をする。	
	創造力	新しい価値を発見する力 例) 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	
チームで働く力 (チームワーク)	発信力	自分の意見を分かりやすく伝える力 例) 自分の意見を分かりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聞く力 例) 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力 例) 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	
	状況把握力	自分と周囲の人々と物事との関係性を理解する力 例) チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力 例) 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力 例) ストレスを感じるがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。	


この中で、自分が身に付けたい能力の順位をつけてみよう!

『社会人基礎力』とは??

社会人基礎力・・・『職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力』のことで、次の3つに分類される。

 前に踏み出す力
(アクション)
一歩前に踏み出し、失敗して

 考え抜く力
(シンキング)
疑問を持ち、考え抜く力

 チームで働く力
(チームワーク)
多様な人々とともに、目標に

分類	能力要素	どのような能力か	優先順位
前に踏み出す力 (アクション)		物事に進んで取り組む力 例) 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけ積極的に取り組む。	
		他人に働きかけ巻き込む力 例) 「やろうじゃないか」と呼びかけ目的に向かって周囲の人を動かしていく。	
		目標を設定し確実に行動する力 例) 言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	
考え抜く力 (シンキング)		現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例) 目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	
		課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 例) 課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のもの何か」を検討し、それに向けた準備をする。	
		新しい価値を発見する力 例) 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	
チームで働く力 (チームワーク)		自分の意見を分かりやすく伝える力 例) 自分の意見を分かりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	
		相手の意見を丁寧に聞く力 例) 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	
		意見の違いや立場の違いを理解する力 例) 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	
		自分と周囲の人々と物事との関係性を理解する力 例) チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	
		社会のルールや人との約束を守る力 例) 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	
	ストレスの発生源に対応する力 例) ストレスを感じることもあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。		

この中で、自分が身に付けたい能力の順位をつけてみよう！

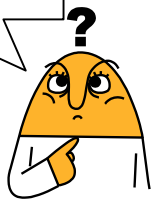
自分の長所を知る

Three empty rounded rectangular boxes for writing.

私から見た _____ の長所

ただ、「やさしい」などと書くのではなく、『〇〇〇〇〇のときに×××××していたこと』というように、具体的に書くと相手に伝わりやすくなるぞ！

Two empty rounded rectangular boxes for writing.



_____ 科2年 _____ 号 氏名 _____

インターンシップの目標と評価

自分自身が身に付けたい能力

分類	能力要素	どのような能力か	自己評価			
			月 日	月 日	月 日	月 日

<評価方法>◎：十分達成 ○：おおむね達成 △：やや不足 ×：達成できなかった

自分の長所を生かした目標

自分の長所 (能力要素)	どのような場面で生かすか	自己評価			
		月 日	月 日	月 日	月 日

<評価方法>◎：十分達成 ○：おおむね達成 △：やや不足 ×：達成できなかった

科2年 号 氏名

事業所で必要とされている能力や行動をメモしておこう！

どのような場面で	どのような能力や行動が必要だったか

インターンシップを振り返って

事業所名	
事業内容	

●どのようなことを体験しましたか？

--

●事業所ではどのような能力や行動が必要だと思いましたか？また、それは「社会人基礎力」のどの能力要素だと思いますか？

どのような作業や場面で	どのような能力や行動が必要だったか	能力要素

●「自分の長所を生かした目標」は達成できましたか？

自分の長所（能力要素）	どのような場面で生かすか	自己評価

<評価方法>◎：十分達成 ○：おおむね達成 △：やや不足 ×：達成できなかった

●これからの学校生活の目標は何ですか？

--

インターンシップ体験発表

●私たちの班は、

でインターンシップを体験しました。

●体験内容は、 <班の特徴的なものを中心に>

です。

●インターンシップで必要だと感じた能力や行動は、 <班の特徴的なものを中心に>

どのような作業や場面で	どのような能力や行動が必要だったか	能力要素
の作業（場面）では	できる能力が必要だと思いました。 （することが必要だと思いました。）	これは能力要素では だと思えます。
の作業（場面）では	できる能力が必要だと思いました。 （することが必要だと思いました。）	これは能力要素では だと思えます。
の作業（場面）では	できる能力が必要だと思いました。 （することが必要だと思いました。）	これは能力要素では だと思えます。
の作業（場面）では	できる能力が必要だと思いました。 （することが必要だと思いました。）	これは能力要素では だと思えます。

●「自分の長所を生かした目標」は、

自分の長所（能力要素）	どのような場面で生かすか
を、	の場面で生かすことができました。
を、	の場面で生かすことができました。
を、	の場面で生かすことができました。
を、	の場面で生かすことができました。

●これからの学校生活の目標は、

--

() 班